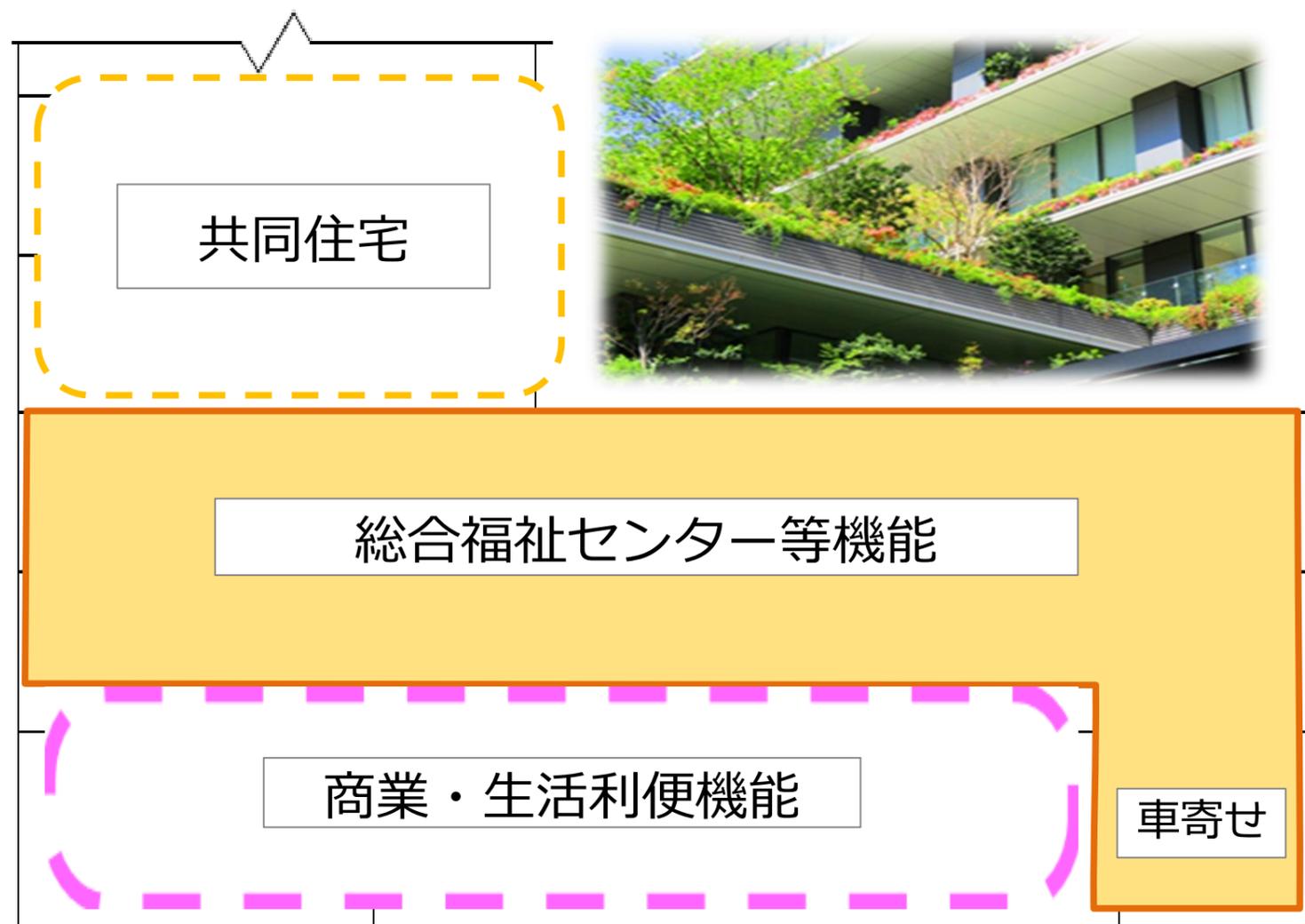
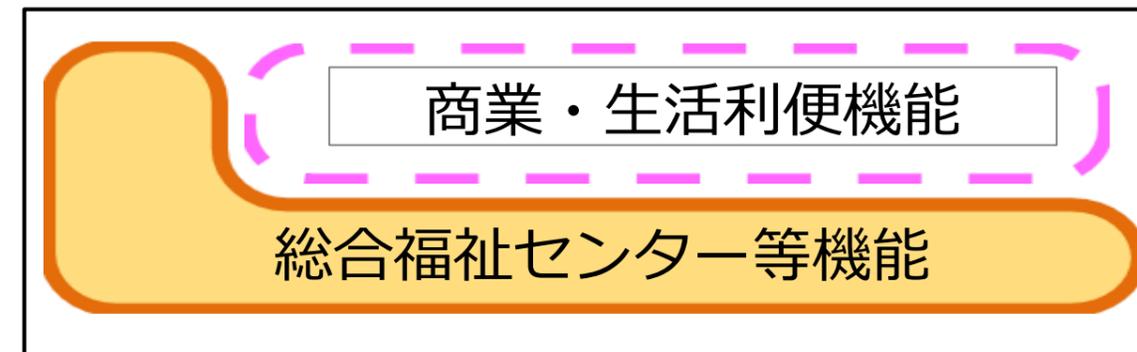


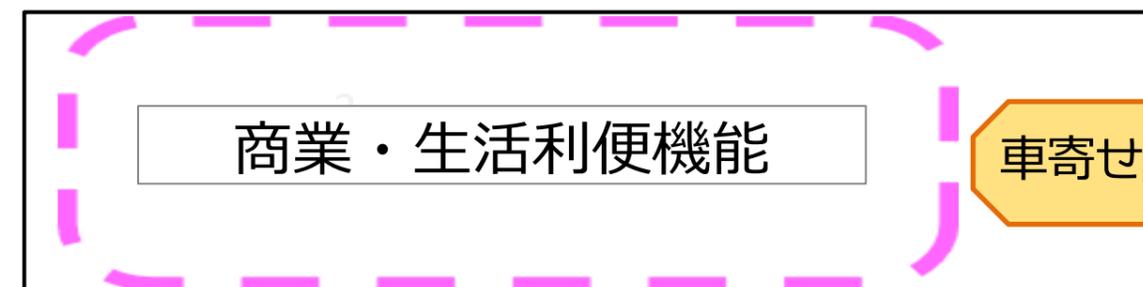
4 B棟施設機能配置イメージ



建物断面イメージ



2F以上 平面イメージ



1F 平面イメージ

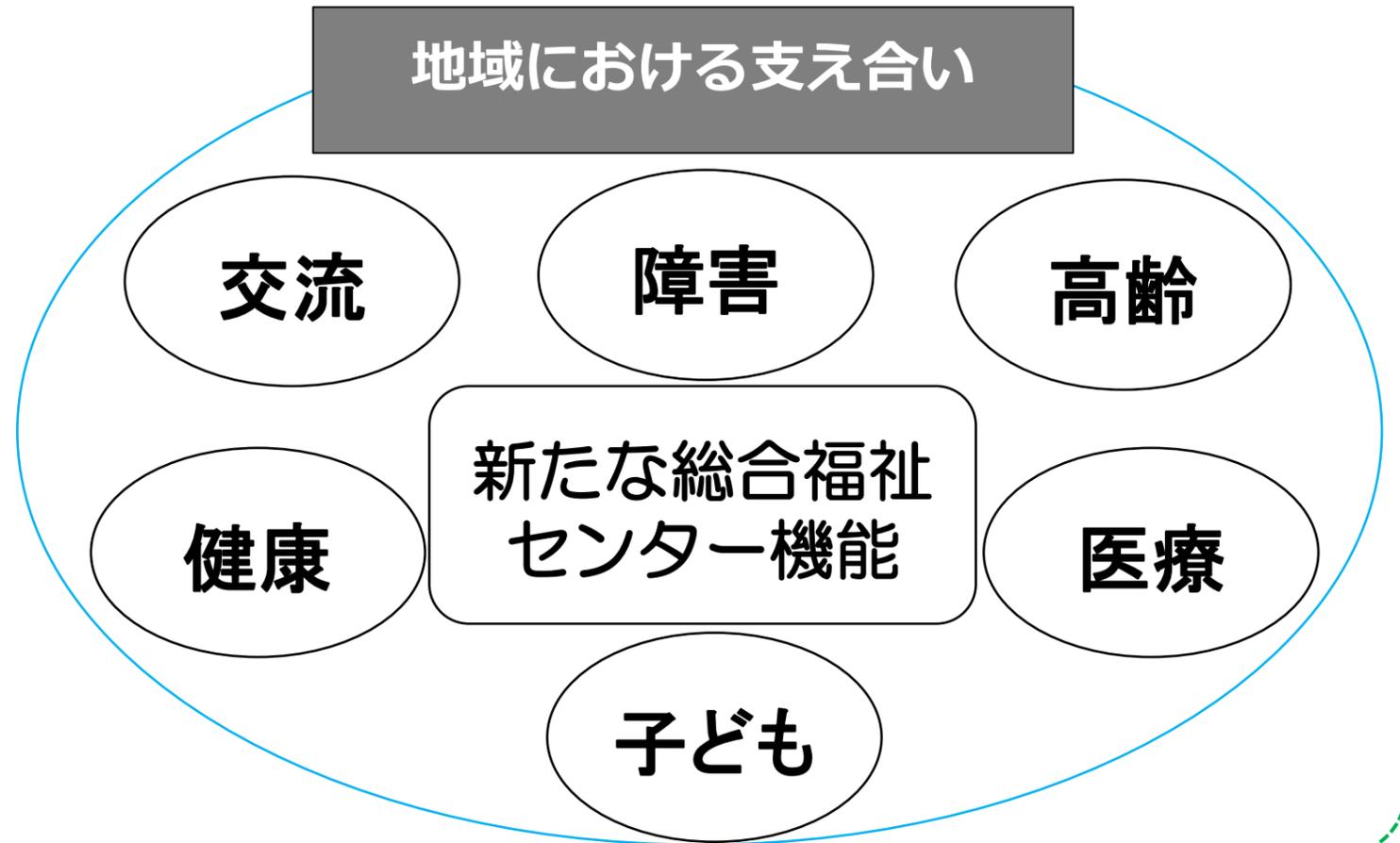


5 新たな総合福祉センター機能整備検討イメージ

「基本コンセプト（案）」
地域共生社会を実現するための
総合的な福祉の拠点

【概要】

- ① 医療・高齢活動支援等の機能を加えた総合的な福祉の拠点
- ② 支え合い活動や情報発信の拠点
- ③ 地域に開かれた親しみやすい福祉の拠点



京王多摩川駅周辺地区まちづくりとの連動メリット

- ① 新たな総合福祉センター機能と、まちづくり全体の医療、子育て支援機能等との調和
- ② 憩い・レクリエーションの場や公園・広場等の確保による多世代・多様な主体が交流する機能の創出
- ③ 商業機能、生活利便機能等との複合化による利便性の向上

5 新たな総合福祉センター機能整備検討イメージ（続き）

機能整備に関する4つの考え方（案）と総合福祉センターの主な機能拡充等（案）

① 総合福祉センター基本機能の維持・向上

各機能について、上下移動の少ない2フロアに機能を集約し、現行機能の維持を基本として一部拡充も含め床面積を確保するとともに障害者等に配慮した3mの廊下幅員（現状2.5m）の確保、駐車場や屋根のある車寄せの設置など基本機能を向上

② 周辺福祉施設機能の集約・複合化

休日・夜間診療等の拠点に関する機能の拡充及び集約・複合化や高齢者の健康づくり、生きがいづくりに関する機能の集約・複合化による総合福祉センター機能の充実・強化

③ 地域共生社会づくりの拠点にふさわしい将来を見据えた機能改善の検討

相談室や集会室の充実など、様々な市民が利用できる施設として、地域の福祉拠点機能を強化

④ 災害対応・ユニバーサルデザイン・利便性向上

京王多摩川駅改札から最も至近距離にある棟への総合福祉センター機能の移転に加え、道路の段差解消など、まちづくり全体でユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮

浸水対応・福祉避難所に関する考え方（案）

- ・ 浸水想定を踏まえ2階以上に総合福祉センター等機能を設置
- ・ 風水害時における発災前から発災後の段階ごとの課題分析を踏まえ、発災前から発災後の総合福祉センター機能の確保、及び福祉避難所の確保など災害時の対応策を検討

調布駅周辺の福祉機能に関する考え方（案）

- ・ 交流・居場所機能や福祉機能等の一部について、調布駅周辺に確保することを検討



第7

今後の整備スケジュール等について

- 1 整備及び管理運営手法，コストの検討イメージ
- 2 整備スケジュールイメージ（案）

1 整備及び管理運営手法，コストの検討イメージ

整備及び管理運営については，移転先候補の敷地条件等に基づく効果的・効率的な施設機能の整備，維持管理が可能な最適手法による財政負担の縮減，負担の平準化について，様々なシミュレーションを行う中で，調布市公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づく，民間の技術，ノウハウ，資金等を活用した最適なPPP（公民連携）手法を検討し効果的な活用を行うことで，整備及び管理運営等に関するコスト縮減やサービス向上を図る

2 整備スケジュールイメージ（案）

施設	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	基本構想（第5期）				基本構想（第6期）					
	基本計画（後期）				基本計画（前期）				基本計画（後期）	
総合福祉センター	整備に関する考え方 事業検討		□	□	□	□	設計・整備工事		■	■
			■	■	■	■	解体設計		■	■
							移転			
							解体工事			